

図書館便り



令和3年 12月6日
武蔵野北高校図書館
2021-12月号



2021年、みなさんにとってどんな1年でしたか？

年内最後の図書館便りとなりました。昨年に引き続き、今年も新型コロナウイルスによって様々な制限を受けた1年でしたが、その中でも充実した日々を送ることができたでしょうか。今回の図書館便りでは、ムサキタ図書館に今年加わった蔵書を紹介しながら、2021年のできごとを簡単に振り返ってみます。みなさんもこの機会に、自分にとっての2021年を振り返ってみてはいかがでしょうか。

それでは、体調にお気をつけて。よいお年をお迎えください。

★★

ムサキタ図書館から冬のおしらせ3点！

①冬休み特別長期貸出開催中！ 12月3日(金)～1月6日(木)

この期間は好きなだけ本を借りることができます。(一部除く) 返却期限日は、1月21日(金)です。

②古雑誌配布企画開催中！ 12月3日(金)～22日(水)

【3日(金)～9日(木)】を抽選予約期間、【10日(金)～22日(水)】を自由配布期間とします。また、2022年のカレンダーも抽選で配布します。詳しくは図書館内および廊下の掲示物をご覧ください。

③今年度の図書購入リクエスト受付終了間近！！12月20日(月)締切

1～3月は発注がありません。年度内に必要な本がある人は、必ずこの日までにリクエスト用紙を提出してください。

12月 = 休館日

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

開館時間：8：40～16：50
※新年は1/4(火)から開館します。

今年の新着図書と振り返る2021年

お正月の風物詩・箱根駅伝では、駒澤大学が最終10区で大逆転優勝！最後まで諦めないことの大切さを教えてくれる激走でした。『駒大陸上部の勝負めし』は、箱根駅伝優勝メンバーや、マラソン日本代表の駒大OB中村匠吾選手の食事を紹介するレシピ本で、スタミナを付けたい運動部のみなさん必見です！

1990年から2020年の間、31年に渡って実施された「大学入学センター試験」に代わり、第1回目の「大学入学共通テスト」が行われました。図書館で購読中の受験情報誌『蛍雪時代』には、共通テストの対策法や予想問題も掲載されているので有効活用してみてください。

国外では、2月にミャンマーで国軍がアウンサンスーチー国家顧問を拘束するというクーデターが起こりました。ミャンマーの抱える複雑な歴史と、この事件の真相について詳しく知りたい人は今月納入の『ミャンマー政変』を読んで下さい。また、8月にはアフガニスタンでイスラム主義勢力・タリバンが、武力で国内を制圧。人類全体が新型コロナウイルスと闘っている中、世界を震撼させる政変が複数起きた1年でした。

3月11日。東日本大震災から10年が経ちました。10年という月日をかけて、少しずつ被災地の復興も進んできてはいますが、未だに震災で受けた傷と闘っている人々が大勢います。今年映画化もされた小説『守られなかった者たちへ』は、震災から数年後の東北を舞台に、生活保護の問題点について切り込んだ作品です。

全国の書店員が今いちばん売りたい本を選ぶ“本屋大賞”が発表され、町田そのこさん著『52ヘルツのクジラたち』が大賞に輝きました。毎年、本屋大賞受賞作はムサキタ図書館でも多くの貸出がされていて、本作もすぐに人気の1冊となりました。町田さんの最新作、すれ違う母娘を描いた『星を掬う』は、今月納入予定です！

コロナ禍で迎える2回目の春。感染拡大に歯止めがかからず、ゴールデンウィークを前に3度目の緊急事態宣言が発令されました。そんな今年の春に出版された『もしも徳川家康が総理大臣になったら』は、AIによって復活した日本史の偉人たちが内閣を組織し、コロナ禍に立ち向かうという新感覚SFです。歴史が好きな人にも、政治・経済に興味がある人にもおすすめの1冊です。

新着図書

12月納入予定分
※書店在庫切れなどにより納入されない場合もあります。ご了承ください。

000～300 総記・哲学・歴史・社会科学

請求記号(仮)	タイトル	著者
002	読む力を鍛える	佐藤 優
015	100万回死んだねこ 覚え違いタイトル集	福井県立図書館
031	現代用語の基礎知識〈2022年版〉ことばをちからに	自由国民社
151	14歳からの個人主義—自分を失わずに生きるための思想と哲学	丸山 俊一
202	沈没船博士、海の底で歴史の謎を追う	山崎 晃太郎
210.4	0から学ぶ「日本史」講義 戦国・江戸篇	出口 治明
291.3	多摩・武蔵野凸凹地図	多摩武蔵野スリパチ学会
304	文藝春秋オピニオン2022年の論点100	文藝春秋
312	ミャンマー政変—クーデターの深層を探る	北川 成史
331	「原因と結果」の経済学—データから真実を見抜く思考法	中室 牧子/津川 友介
377	国立大学by AERA〈2022〉未来を変える大学選び	朝日新聞出版
384	遊廓と日本人	田中優子

400～600 自然科学・技術・産業

請求記号(仮)	タイトル	著者
407	理系女性の人生設計ガイド—自分を生かす仕事と生き方	大隅 典子/大島 まり/山本 佳世子
410	解きたくなく数学	佐藤 雅彦/大島 遼/廣瀬 隼也
440	宇宙と星	畑中武夫
460	そうだったのか！ヒトの生物学	坪井 貴司
469	「顔」の進化—あなたの顔はどこからきたのか	馬場 悠男
490	すばらしい人体—あなたの体をめぐる知的冒険	山本 健人
518	ゼロ・ウェイスト・ホーム—ごみを出さないシンプルな暮らし	ジョンソン、ヘア
538	宇宙飛行士選抜試験—ファイナリストの消えない記憶	内山 崇
594	ドライフラワーでつくるリースとスワッグ インテリアのアレンジメント	Kristen
649	動物の看護師さん—動物・飼い主・獣医師をつなぐ6つの物語	保田 明恵
673	常識のない喫茶店	僕のマリ

1年延期された東京オリンピック・パラリンピックが、無観客を原則として開催。オリンピックでは過去最多27個の金メダルを獲得、パラリンピックでも金メダル0個に終わった前回大会から大きく躍進する13個の金メダルを獲得するなど、日本のアスリートが自国を舞台に大活躍する大会となりました。その激闘の記録は、スポーツ誌『Sports Graphic Number』で読むことができます。また、今大会で4度目のパラリンピック代表にして、初めて悲願の金メダルを獲得した競泳の木村敬一選手の自伝『闇を泳ぐ』は、オリパラ関係で特におすすめしたい本です。幼い頃に視力を失い、「金メダルの色だって、いったいどんな色なのか、見当もつかない」と語る木村選手が、それでも金メダルを目指した原動力について、彼の人柄を象徴する明るく愉快なエピソードの数々を交えて語っています。

しかし、コロナ感染拡大下でのオリパラ開催に、反対意見が多かったのもまた事実。医師であり作家の海堂尊さんは、コロナ禍の日本を描いた『コロナ黙示録』『コロナ狂騒録』の中で、オリパラ開催を批判的に描いています。フィクションの小説という形ではありますが、現実との境目がわからなくなるほどリアリティ溢れる作品です。

納入前にも貸出予約を入れることができます！
予約は先着順なので、気になる本がある人はお早めに！

700・800 芸術・言語

請求記号(仮)	タイトル	著者
720	教養として知っておきたい名画BEST100	山内舞子
726	谷崎マンガ—変態アンソロジー	谷崎 潤一郎
726	かいじゅうたちはこうやってピンチをのりきった—不安・こわい気持ち	新井 洋行/森野 百合子
816	大学入試小論文の完全ネタ本 自然科学系編 (改訂版)	神崎史彦
816	大学入試小論文の完全ネタ本 社会科学系編 (改訂版)	神崎史彦
816	大学入試小論文の完全ネタ本 人文・教育系編 (改訂版)	神崎史彦
816	大学入試小論文完全ネタ本 医療薬系/看護・医療系編 (改訂版)	神崎史彦

900 文学

請求記号(仮)	タイトル	著者
909	世界の児童文学をめぐる旅	池田 正孝
913.6	恋愛中毒	山本 文緒
913.6	星を掬う	町田そのこ
913.6	君の顔では泣けない	君嶋 彼方
913.6	転職の魔王様	額賀 滯
913.6	N	道尾 秀介
913.6	連続殺人鬼カエル男	中山 七里
914.6	ここに物語が	梨木 香歩
936	デナリ—ともにガンと闘い、きみと生きた冒険の日々	ムーン、ベン

入試科目に小論文や面接があり、時事問題や話題のトピックスについて詳しく知りたい人には、今月納入予定の『現代用語の基礎知識』と『文藝春秋 オピニオン 2022年の論点100』もおすすめです！ また、既に多くの3年生が利用している『大学入試小論文の完全ネタ本』シリーズを、今月追加で納入します。こちらも併せて読んでみてください。

二酸化炭素の地球温暖化への影響を50年以上も前に予測し、その研究の成果が認められた日本出身の真鍋淑郎さんが、ノーベル物理学賞を受賞しました。SDGsの17の目標のひとつにも掲げられている「気候変動に具体的な対策を」を達成するには、真鍋さんの研究が示す通り、脱炭素社会を目指す必要があります。入門書として『図解でわかる14歳からの脱炭素社会』を読んでみてはどうでしょう。またここ数年、毎年のように異常気象による災害が起きている日本に住む私たちにとって、気象も一人ひとりがしっかりと考えるべきテーマです。今年5月～10月にかけてNHKで放送された気象予報士の主人公・モネの成長を描いたドラマ『おかえりモネ』の制作にも関わった気象学者の荒木健太郎さんが監修した『天気と気象大図鑑』は、天気と気象について網羅した図鑑となっています。

そして10月、菅義偉前首相の辞任に伴い、自民党総裁選で勝利した岸田文雄氏が第100代内閣総理大臣に就任。同月末の衆議院議員総選挙では、自民党が過半数の議席を獲得し、引き続き首相を務めることになりました。岸田首相の政権構想について知りたい人は、岸田首相の自著『岸田ビジョン』を読んでみてください。